われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http ://izoku-okayama.jp/

靖國神社春季例大祭
衆参国会議員二百二十二人参拝
安倍総理は大真榊を奉納

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会（会長・尾辻秀久参議院議員／日本遺族会会長）」の衆参両院国会議員二百二十二人（本人百四十七人）が、春季例大祭期間中の四月二十二日午前八時、靖國神社に参拝した。

当日は、高市早苗自民党政調会長、衛藤晟一総理補佐官、西川京子文部科学副大臣、高木毅国土交通副大臣、井上信治環境副大臣をはじめ大臣政務官五人、自民党、民主党、日本維新の会、みんなの党、結いの党、新党大地、無所属の国会議員の会員がそろって参拝し、社に眠るご英霊に感謝の誠を捧げた。

第二次安倍内閣の閣僚では古屋圭司国家公安委員長が二十日に、新藤義孝総務大臣、加藤勝信官房副長官が二十二日にそれぞれ別途参拝した。

なお、安倍晋三内閣総理大臣、山崎正昭参議院議長、田村憲久厚生労働大臣は「大真榊」を奉納している。

尾辻議連会長は参拝後の記者会見で、安倍総理が真榊を奉納したことについて、「靖國神社に祀られているご英霊は、ひたすら国のためを思って散っていった。安倍総理が国益のためにどうすれば良いか、総理の判断だと思う」と述べた。

また、稲田朋美行政改革担当相はサンフランシスコ講和条約が発効し、日本の主権が回復した四月二十八日に合わせ、自らが会長を務める自民党議員グループ「伝統と創造の会」のメンバーと共に参拝した。稲田行革相は参拝後、「いかなる歴史観に立とうとも、自国のために殉ぜられた方へ追悼の意を表することは、主権国家の国民であれば、自分の判断でなすべきだ」との考えを表明した。

参拝した衆参両院議員は次のとおり。

（党派別・敬称略）

尾辻会長を先頭に参拝する議連メンバー

議員本人参拝

▼衆議院　114人

【自民党】逢沢一郎、秋葉賢也、秋元司、穴見陽一、**池田道孝**、池田佳隆、伊東良孝、井上信治、井上貴博、井林辰憲、今津寛、今村雅弘、岩田和親、うえの賢一郎、大串正樹、大塚高司、大西英男、大野敬太郎、大見正、小倉將信、鬼木誠、梶山弘志、勝沼栄明、加藤寛治、金子恵美、金子恭之、川田隆、木内均、城内実、北村茂男、北村誠吾、工藤彰三、小島敏文、小林茂樹、小松裕、今野智博、桜井宏、佐々木紀、左藤章、新谷正義、鈴木淳司、高市早苗、高木毅、高鳥修一、高橋ひなこ、武井俊輔、竹下亘、武村展英、竹本直一、田中和徳、田中英之、田中良生、寺田稔、冨樫博之、とかしきなおみ、永岡桂子、中川郁子、長坂康正、中谷真一、中村裕之、中山泰秀、西川京子、根本幸典、原田憲治、平井卓也、福山守、藤丸敏、細田健一、堀井学、前田一男、松本文明、松本洋平、三ツ林裕巳、宮内秀樹、宮川典子、宮崎謙介、宮路和明、務台俊介、武藤貴也、武藤容治、森山裕、保岡興治、簗和生、山口俊一、**山下貴司**、山田美樹、山本有二、湯川一行、渡辺博道

【民主党】中根康浩

【日本維新の会】今村洋史、岩永裕貴、上西小百合、遠藤敬、河野正美、坂元大輔、杉田水脈、園田博之、高橋みほ、中丸啓、西田譲、西野弘一、**平沼赳夫**、藤井孝男、松田学、丸山穂高、三木圭恵、村岡敏英、山田宏、山之内毅

【結いの党】青柳陽一郎、柿澤未途

【無所属】阿部寿一

【新党大地】鈴木貴子

▼参議院　33人

【自民党】赤池誠章、有村治子、**石井正弘**、磯﨑仁彦、岩井茂樹、岩城光英、江島潔、衛藤晟一、**尾辻秀久**、酒井庸行、佐藤信秋、佐藤正久、島田三郎、塚田一郎、柘植芳文、中西祐介、長峯誠、野村哲郎、橋本聖子、藤川政人、堀井巌、舞立昇治、松村祥史、松山政司、**水落敏栄**、山谷えり子、若林健太

【民主党】小見山幸治、羽田雄一郎

【日本維新の会】中野正志、中山恭子

【みんなの党】江口克彦、和田政宗

議員代理参拝

▼衆議院　58人

【自民党】青山周平、赤澤亮正、**阿部俊子**、甘利明、稲田朋美、江渡聡徳、衛藤征士郎、江藤拓、遠藤利明、奥野信亮、小里泰弘、小渕優子、神山佐市、亀岡偉民、神田憲次、岸信夫、木村太郎、小池百合子、國場幸之助、後藤田正純、坂本剛二、櫻田義孝、佐田玄一郎、塩崎恭久、塩谷立、棚橋泰文、谷川弥一、土屋品子、土屋正忠、東郷哲也、二階俊博、西川公也、西村明宏、西村康稔、野田聖子、葉梨康弘、林田彪、福井照、福田峰之、藤原崇、古川禎久、保利耕輔、堀内詔子、町村信孝、松本純、三ツ矢憲生、宮澤博行、宮下一郎、望月義夫、山口泰明、山田賢司、山本公一、山本拓

【日本維新の会】重徳和彦、松浪健太

【生活の党】鈴木克昌

【無所属】伊吹文明、長崎幸太郎

▼参議院　17人

【自民党】青木一彦、石井浩郎、井原巧、大家敏志、岡田広、金子原二郎、滝沢求、豊田俊郎、中泉松司、中曽根弘文、二之湯武史、馬場成志、三原じゅん子、山下雄平、山本一太、山本順三

【日本維新の会】片山虎之助

県下各地から二千人が参列し 岡山県戦没者春季慰霊祭を厳修

今年も五月五・六日にわたり恒例の春季岡山県戦没者慰霊祭と護國神社慰霊大祭が多くの参列者のもと厳粛盛大に執り行われた。

岡山県戦没者顕彰会（会長・渡辺英気岡山県議会議長）主催により五日に執り行われた岡山県戦没者慰霊祭には、戦没者ご遺族、崇敬者、一般参拝者ら約二千人が参列。朝からあいにくの雨模様であったが、境内駐車場は早朝から貸し切りバスや自家用車で埋まった。

神域に優雅な越天楽が流れる中、奥西宮司以下、祭員、奉仕女が参進し、続いて渡辺県顕彰会会長、木幡副知事、岸本県遺族連盟理事長をはじめ、国会議員、県議会議員ら各界代表が参進し、午前十時に式典が開式。宮司祝詞奏上、吉備舞奉納などに続いて各界代表が玉串を御霊に捧げ、ご英霊の在りし日を偲び冥福をお祈りした。

また、翌六日には約七百人が参列し、県護國神社の春季例大祭が執り行われた。境内では備中神楽の奉納、華道展や県内自衛隊隊員による銃剣道大会などの催しが行われ、終日参拝者で賑わった。

両日にわたって多数の各界代表のご参列をいただき、盛大なる慰霊行事が滞りなく執り行われましたことに遺族一同深く感謝するものであります。

また、慰霊行事期間中、参拝者受付、駐車場の交通整理、湯茶接待など、早朝からご奉仕をいただきました多くの関係者の皆様方に改めてお礼申し上げますと共に、県下女性部のご協力をいただいた千羽鶴を両慰霊行事にあわせて奉納させていただいたことを報告いたします。

両日の慰霊行事に参列いただきました各界代表の方々は次のとおり。

（順不同・敬称略）

▼岡山県副知事
木幡　浩

▼岡山県議会議長
渡辺　英気

▼国会議員
逢沢　一郎
加藤　勝信（代理）
阿部　俊子（代理）
橋本　岳
山下　貴司
池田　道孝（代理）
石井　正弘（代理）
平沼　赳夫（代理）
片山虎之助
柚木　道義

▼岡山県議会議員
戸室　敦雄
千田　博通
河本　勉
古山　泰生
岡崎　豊
小田　圭一
伊藤　文夫
遠藤　康洋
小林　健伸
佐藤　真治
小倉　弘行
波多　洋治
蜂谷　弘美
浅野　實
江本　公一
中塚　周一
渡辺　吉幸
池本　敏郎
木口　京子

▼岡山県町村会会長
河島　建一（久米南町）

▼市町村議会議長
森岡　聰子（笠岡市）

▼市町村議会議員
松島　重綱（岡山市）
和気　健（〃）
川本浩一郎（〃）

▼岡山県神社庁庁長
河本　貞紀

▼岡山偕行会会長
鳴海　榮

護國神社宮司に 奥西道浩氏 就　任

岡山県護國神社では、笹井和男宮司の退任に伴い、四月一日付で奥西道浩氏（写真）が宮司に就任した。

奥西氏は岡山県美作市出身で現在六十八歳。昭和四十四年に皇学館大学卒業後、直ちに神宮（伊勢神宮）に奉職。以来、五十一年宮掌、平成二年権禰宜、十四年禰宜に任ぜられ、平成二十三年からは神社式年造営庁参事として式年遷宮の大事業にあたられた。

児童・生徒への語り部 ― 次世代に語る中で

井原市遺族連合会監事　渡邊繁雄

岡山県遺族連盟の新しい事業年度でも、戦争の悲惨さと平和の大切さを次世代に語り継ぐことが理事会、評議員会において決定されています。

井原市遺族連合会では、一昨年度から市内小学校へ出向いて語り継ぐことに取り組んでいることは、既にこの紙面（平成二十五年一月号）で報告させていただいているところです。

今年に入ってから、私たちが戦没者遺族の体験等を話したこと（二月に実施）に対して、児童からの感想文が小学校から届きましたので、その中の一部を紹介させていただきます。参考になれば幸いです。

【Aさん】

先日は私たちのために戦争体験のお話をしてくださってありがとうございました。お話の中で私が一番心に残ったことは、井原でも芳井でもたくさんの人が戦争で命を亡くされたということです。私はその話を聞いただけで胸が苦しくなります。だから今の小学生や中学生は本当に幸せだと思います。戦争が終了して六十八年がたったと聞きました。これからも戦争がまた起こらないでほしいというのが私の願いです。

【Bさん】

井原市で二千三百人もの人が亡くなっているなんて、戦争は本当にこわいことでしてはいけないことなんだと思いました。私だったら戦争で親を亡くしたりしたら耐えられないと思います。ましてや二才で亡くしたりしたら、私は何もできないと思います。そんな中、戦争に耐えてきたのはスゴイことなんだと思います。

【C君】

戦争の悲惨さや戦争中の暮らしのようすがよく分かりました。他の小学校や中学校でも僕たちに語ったように分かりやすく教えてください。

【Dさん】

幼いころにお父さんを亡くされたというところが、心に残っています。お父さんと別れることは私には考えられません。戦争は二度としてはいけないと改めて感じました。これからも、そのことを忘れないようにしていきたいです。

【E君】

戦争はもう絶対にしてはいけないことだとわかりました。戦争で食べ物が不足し、みんながこまって、カエルや草やミミズやネズミを食べて死んでしまった人のぶんまで、ぼくたちが食べ物を残さず食べないといけない。―この他にも、次のようなことも記されていました。

＊昔の人々が命がけで戦争したので今の自分が生きているんだと思いました。

＊他の小学校の六年生や来年、再来年の六年生にも戦争体験の貴重なお話を聞かせてあげてください。

＊戦時中や戦後の苦労がよく伝わってきました。現在はそのような苦労はあまりありませんが、日本も昔は物資にとても苦労していたことを忘れてはいけないと思います。

＊戦時中は学校に行っても授業ができないのがビックリしました。

＊女性では看護師の方も亡くなられたと聞いて、かわいそうだと思いました。

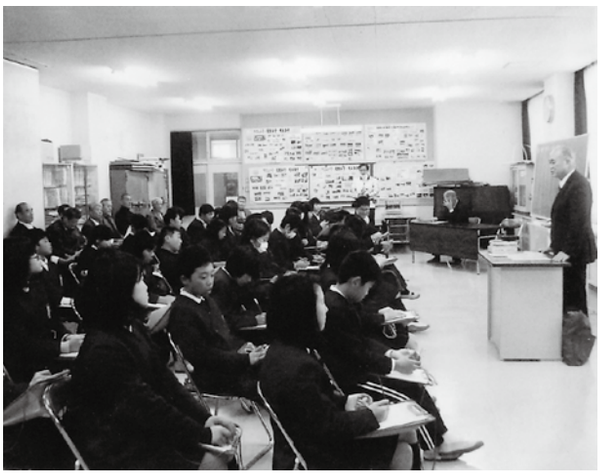
＊戦争中の生活などの話が心に残りました。この分かりやすい話を他の小学校の人にも教えてあげてください。

＊また、お話をできる会があれば話してください。

―児童たちは私たちの話を真剣に聞き、以上のような想いをもってくれていることが解ります。

これらの言葉の中に、私たちは話さなかったけれども児童の声として「他の小学校や中学校でも話してください。」との感想が多くありました。

これらの声に応えていくことが今、私たち戦没者遺族に求められていると感じると共に、話す内容の充実など一層の努力研讃が必要とも感じられます。このため本年度も遺族会役員等の研修会を計画しています。



六年生の教室で遺族の想いを語る渡邊氏

岡山陸軍墓地・慰霊碑 周辺整備に対する支援に感謝

岡山市北区津高地区に建立されている岡山陸軍墓地は、経年劣化により石碑の傾斜や石垣枠パイプ脱落など、その管理に苦慮しているところであるが、このたび川田建設（遺族会会員）のご厚意を賜り立派に修復していただきました。

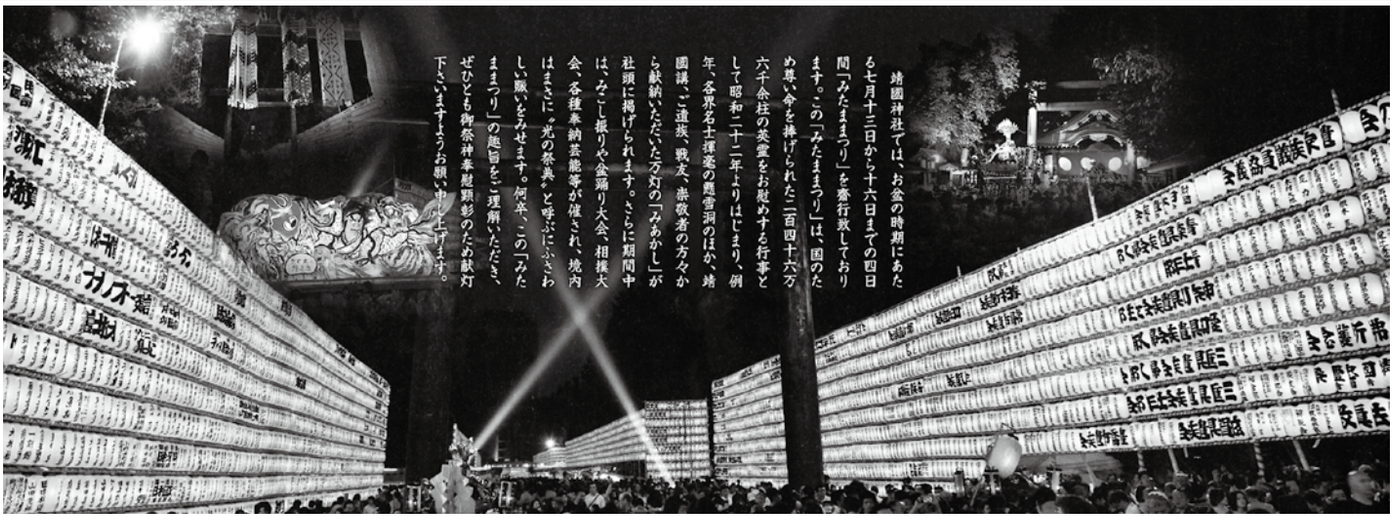
また、北区吉宗の藤森都守氏には数日間、敷地全体の景観を損ねている周辺雑木の伐採作業をしていただき、かつての暗い雰囲気から、今は周囲も見渡せるほどに随分明るい環境になりました。

更には、春秋彼岸祭前には地元・津高遺族会の方々に清掃奉仕をいただいており、改めて英霊顕彰活動へのご支援に感謝申し上げます。

岡山県戦没者顕彰会

木々の伐採が終わり周囲が見渡せるようになった岡山陸軍墓地（一部）

清掃奉仕をいただいている津高遺族会の皆さん



靖國神社では、お盆の時期にあたる七月十三日から十六日までの四日間「みたままつり」を奉行致しております。この「みたままつり」は、国のため尊い命を捧げられた二百四十六万六千余柱の英霊をお慰めする行事として昭和二十二年よりはじまり、例年、各界名士揮毫の題雪洞のほか、靖國講、ご遺族、戦友、崇敬者の方々から献納いただいた万灯の「みあかし」が社頭に掲げられます。さらに期間中は、みこし振りや盆踊り大会、相撲大会、各種奉納芸能等が催され、境内はまさに〝光の祭典〟と呼ぶにふさわしい賑いをみせます。何卒、この「みたままつり」の趣旨をご理解いただき、ぜひとも御祭神奉慰顕彰のため献灯下さいますようお願い申し上げます。

東京の夏の風物詩―
靖國神社みたままつり
献灯ご案内

申し込み要領

【小型献灯】

◆初穂料
　一灯につき　三千円
◆永代献灯基金
（永代に亘り掲揚）
　一灯につき　七万円

【大型献灯】

◆初穂料
　一灯につき　一万二千円
◆永代献灯基金
（永代に亘り掲揚）
　一灯につき　二十万円

◎お申し込みは
〒一〇二―八二四六
東京都千代田区九段北三―一―一
靖國神社社務所
電　話　〇三（三二六一）八三二六
ＦＡＸ　〇三（三二六一）八六二五（大型）
〇三（三二六一）八三二〇（小型）

◎郵便局備付けの振替用紙を利用の方は
振替番号　東京　〇〇一九〇―一―四六七一〇
加入者名　靖國神社社務所
＊通信欄に掲揚名を記入のこと。
（御祭神名では掲揚できません）
＊小型・大型及び掲揚希望灯数等を記入のこと。
＊掲揚場所等は神社にご一任下さい。

◎申込締切
六月二十日

遺族会の動き

平成二十六年五月行事表

5日　岡山県戦没者春季慰霊祭（県護國神社）
6日　岡山県護國神社春季例大祭（県護國神社）
9日　倉敷市児島戦没者慰霊祭（中山忠魂碑）
10日　倉敷市遺族連合会総会（倉敷市役所）
12日　岡山市西大寺遺族連合会女性部総会（玉野市内）
13日　倉敷市倉敷遺族連合会総会（倉敷市役所）
15日　高梁市高梁地区戦没者追悼式（高梁市総合福祉C）
18日　備前市遺族連合会総会（備前市役所保健C）
20日　瀬戸内市遺族連合会役員会（牛窓町公民館）
28日　和気郡遺族連合会役員総会（和気交通公園研修室）
28日　倉敷市児島遺族連合会総会（児島交流C）
29日　笠岡市遺族連合会定期総会（笠岡市老人福祉C）
29日　真庭市遺族連合会総会（久世公民館）
31日　総社市遺族連合会総会（いさお会館）
3日　新見市遺族連合会役員総会（新見市総合福祉C）
　県連盟監査会（県連盟事務所）

平成二十六年六月行事表

5日　日遺第二回評議員会（靖國会館）
6日　日遺政代議員会（靖國会館）
7日　高梁市川上町戦没者慰霊祭（県護國神社）
11日　日遺支部事務局長会議（旧九段会館）
13日　県連盟常任理事会（いさお会館）
14日　玉野市遺族連合会定期総会（玉野総合福祉C）
17日　笠岡市戦没者追悼式（笠岡市民会館）
19日　浅口市郡遺族連合会評議員会（鴨方町内）
20日　久米郡美咲町遺族連合会役員総会（中央ふれあいC）
23日　県連盟第四回理事会（県連盟大会議室）
28日　全国戦没者遺族代表者会議・国会陳情（東京都内）
29日　新見市美穀地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　久米郡久米南町戦没者慰霊祭（県護國神社）
　沖縄平和祈願慰霊大行進（沖縄県）
　県連盟第三回評議員会（県連盟大会議室）
　県護國神社崇敬者総代・大総代合同会議（いさお会館）
　岡山市戦没者追悼式（岡山市民会館）

平成二十六年七月行事表

4日　浅口郡鴨方町戦没者慰霊祭（県護國神社）
16日　戦没者遺族慰霊研修事業（東京方面）一泊
23日　日遺女性部60周年の集い・国会陳情（東京都内）一泊

宮内庁掌典職として12年の長きにわたり身近にお仕えされた貴重な体験を基に、天皇陛下のご日常の最も重要なお勤めである「宮中祭祀」についてお話し頂きます。

＊**開催日時**：平成26年６月20日㈮　14時から
＊**開催場所**：岡山市中区奥市３-22
「岡山県神社庁」２階講堂
＊**参 加 費**：無料
＊**お申込み**：６月16日㈪迄に下記の岡山県神社庁へ但し、定員100名になり次第締め切らせて頂きます。

◎お申し込み・お問い合わせは
〒703-8272　岡山市中区奥市３-22「岡山県神社庁」
電話　086（270）2122
FAX　086（270）2123